慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	人文グローバルCOE : 3施設キックオフシンポジウム
Sub Title	
Author	増田, 早哉子(Masuda, Sayako)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2008
Jtitle	活動報告書 Vol.2, (2008.) ,p.53- 53
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章 : シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20090300-0053

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

12 人文グローバルCOE 3施設キックオフシンポジウム

開催日　2009年1月30日
企画班　全体
企画者　増田早哉子
講演者　上田恵介（立教大学/日本動物行動学会会長）、大林茂（独立行政法人放射線医学総合研究所）、小川誠二（東北福祉大学）、梅田聡、伊澤栄一、山﨑由美子(脳と進化班)

2009年１月30日「人文グローバルCOE ３施設キックオフシンポジウム」と題するシンポジウムを開催した。グローバルCOEでは2007年から2008年にかけて、３つの施設が新しく立ちあげられた。野外研究施設（つくば）、MRI研究棟（綱町グラウンド）、マーモセット研究施設（信濃町リサーチパーク）である。グローバルCOE教員の梅田聡（MRI施設）・山﨑由美子（マーモセット施設）・伊澤栄一（野外研究施設）が、各施設を紹介し、それぞれの施設と関連のある領域の第一人者の先生方をお招きし、最新の研究情勢について伺った。

機能的MRIの基本原理である、BOLDの原理を確立された小川誠二先生（東北福祉大学）は、「fMRIによって、“形”認識部位のspecificityの新たな側面をさぐる」と題する講演で、機能画像の新しい測定法であるpair-wised stimulus paradigmについての提案と紹介と、研究成果を紹介された。覚醒霊長類を用いて、PETによる「知・情・意」の機能局在マッピング法を確立された大林茂先生（独立行政法人　放射線医学総合研究所）は、「マーモセットは脳科学とトランスレーショナル研究に何をもたらすか　～霊長類を用いた次世代ポジトロンCT脳研究への新機軸～」と題する講演を行い、マーモセットをはじめとした霊長類の論理課題の研究や、パーキンソン病をはじめとした疾患の動物モデルの紹介をしていただいた。繁殖行動に関わる研究をはじめとした、鳥類を対象とした研究をされている上田恵介先生(立教大学)は、「托卵鳥（たくらんちょう）研究の新しい展開～ヒナ段階におけるカッコウと仮親(かりおや)の軍拡競争～：富士山とオーストラリアでの野外調査から」の中で、フィールドにおける産みつける側と産みつけられる側の軍拡競争の比較研究を紹介していただいた。

領域や対象こそ異なるものの、全体を通して活発な議論が展開され、終了後の懇親会においても、多くの聴衆が、活発な討論を講演者と交わしていた。各施設における、今後の研究の発展が期待される。

（増田早哉子）